

# 21年度 市川市 PTA 連絡協議会

会議名	第11回三役会議事録		
作成者	(事務局員)	開催場所	市川市役所6階 委員会室
開催日	2010年2月6日(土)	開催時間	13:00~17:00
出席者	会長(新浜小)・副会長(国分小)・副会長(南新浜小)・副会長(第四中)・副会長(稲荷木小)・事務局員(南行徳小)・副会長(大野小校長)・【事務局員:1名】・【市:副主幹・(保険体育課)】・実行委員長(第八中)		

## 1. 会長挨拶

年度末ということで、色々と次年度に向けて手を打っていかなくてはならないことがあります。県からの話しも色々とあるので後で意見を聞かせてほしい。日Pからは会費値上げについて正確な情報が出てきました。県は次の役員会で対応を決めることになるので、市川市としての意見を今日はまとめたいと考えています。

## 2. 給食費について(保健体育課)

### (1) 給食申込書

平成20年度に導入し、これまで2年間実施をしてきた。平成19年度の未納額312万円と比較し、平成20年度は198万円まで減少したことから、一定の成果が上がったと評価している。その一方で、保護者に記入をお願いする手間や教職員の書類を取りまとめる手間などが増えたとの意見もあり、平成22年度からは一年毎の申し込みではなく、入学時1回の申し込みに変更できないかと検討している。具体的には、平成22年度は一律に実施し、申し込む範囲を「在学中」とする。平成23年度から入学時の1回としたい。

### (2) 給食費無料化

市長の公約の中に給食費無料化を目指すというのが謳われている。これを一年間の費用として計算すると約17億円の予算が必要と考えている。このことから平成22年度の完全無料化は実質調整がつかないため難しい。平成21年度と同様に値上げ回避でとどまるものと考えている。平成21年度の支給品は米のみだったが、現場からの声などもあり平成22年度は他の食材も支給する方向で考えている。

子ども手当の話もあり、給食費無料化が本当に必要なのか、市民の意見を聞きながら平成22年度に方向性を決めていきたいと考えている。その際にはP連にも意見を聞いてほしい。

### (3) P連からの意見

給食申込書については毎年実施をしたほうがよいと考える。元々、意識付けが目的であった筈で、それならば毎年やらないと、また未納が増えると思う。ここまで2年間提出していたものが提出しなくてよくなると、たとえ平成22年度の文面が在学中となっても、もう給食申込書はなくなったと考える人が多いと思う。

給食費の無料化についてはほとんどの人が平成22年度から無料になると考えていると考えて行動したほうがよい。現状では実施すると発表をしていないと行政側は考えているだろうが、実施しないという発表もしていない。市長がやると言っているのだからやるのが当たり前と考えている人も多い。

この両方から、給食費無料化はすぐにはできないが将来の実現を目指していくと言いながら、一方で6年間の給食費を支払いますという内容の申込書が存在することになり、その問合せは学校へ集中するのが目に見えており、教職員の余計な手間がまた増えるだけという危惧もある。

P連としての要望は2点

- ・給食申込は一年単位で毎年実施する。

- ・市長名で平成 22 年度の給食費無料化はないという文章を発行する。

### 3. 各部会からの報告

#### (1) 総務部会

- ・来月、総務部会を開催し、総会の段取りについて話し合う予定。

#### (2) スポーツ部会

- ・PTA 野球連合より春季大会を継続したいと言ってきており、近いうちに話し合いを持つ予定。

#### (3) 研修部会

- ・第 3 回オリエンテーションも無事に終了することができました。協力をありがとうございました。
- ・年度初めにやって欲しいという意見も出ていた。しかし、年度の初めにやっていたら、今回のような活発な意見が出たかどうか分からない。
- ・現在、事務局員にて各グループで話し合われた意見を整理している。

#### (4) 広報部会

- ・各行事の取材を行った。
- ・広報第 3 号の編集のため近日中に広報部会を開催する予定。
- ・広報用会長挨拶文は 2 月末までに提出予定。

### 4. 議題

#### (1) 会報づくりについて講習会の講師依頼について

- ・5 月 28 日(金)に 1 日で実施する。今回は昨年度より 30 分時間を延長する。
- ・講師は平成 21 年度と同様に武藤先生（塩焼小）に事務局よりお願いをする。

#### (2) 次年度三役員の候補について

- ・平成 22 年度の P 連三役候補について協議を行った。

#### (3) その他

- ・2 月 12 日（金）14 時から自然博物館にて市川市博物館協議会が開催されるが、担当の副会長（第四中）が出席できないため、代理で副会長（国分小）が出席する。
- ・市川市租税教育推進協議会に副会長（国分小）が出席。税務署で小学校向けの教室を開催しており、公立校で 30%、私立校で 60%の実施をしている。校長先生に案内が出ているが内容が分かりにくい。実施するならきちんとやるべきという意見を出してきた。
- ・2 月 5 日（金）市川市ホテル等審議会に事務局長（南行徳小）が出席。委任状をもらっただけで、しばらく招集はないという確認を行った。
- ・2 月 17 日（水）市川市交通対策審議会に事務局長（南行徳小）が出席。コミュニティバスや自転車のマナーについての話題が出た。
- ・1 月 27 日（水）市川市特別教育振興大会に副会長（稲荷木小）と事務局員が出席。
- ・書き損じはがき、切手、テレカ等の収集状況。南新浜小と稲荷木小は本日提出があった。
- ・平成 22 年度第 1 回役員会の開催場所について、昨年まで使用していた八幡小学校会議室は 21 時までしか使用できないため、別の会場を捜さないとならない。例年、第 1 回を平日にしているのは、この時期運動会が多いため。有料でも仕方がないという意見もあり、平成 22 年度は市川市文化会館の会議室を借りて開催する。
- ・教育フォーラムについて、候補日を 10 月 1 日（金）、6 日（水）、7 日（木）の 3 日間で調整を行う。

## 5. その他（県 P 関連）

- ・広報紙コンクールに P 連だよりを出品できるかという質問に対し、平成 22 年度については行わないという回答があった。ただし、今後県 P にて検討協議する。今年度の応募締め切りは 4 月 16 日で、市川市からは 6 点を出品できる。
- ・平成 22 年度県 P 役員推薦の依頼が来ている。市川市から 21 年度役員を引き受けてもらっていた 2 名を 22 年度も役員として推薦したい。1 名了承。1 名保留。回答締め切りは 4 月 16 日。
- ・ちば国体の関係でバレーボール大会の郡市予選の日程を調整するように確認があった。市川市は既に会場調整をしておき問題なし。
- ・個人表彰、団体表彰について推薦依頼が来ている。市川市は個人・団体合わせて 14 件まで推薦することができる。締め切りは 4 月 16 日。これまで市川市は退任役員しか推薦していなかったが、せっかくの推薦枠であるので、できるだけ推薦を出したい。現状では 11 名、3 団体の名前が挙がった。
- ・日 P にて平成 23 年度分より会費を 1 児童あたり 4 円／年（従来の 6 円／年とあわせて 10 円／年）の値上げが決定されたことに対し、県 P でも値上げを検討しており、ほぼ実施される見通しとなっている。ただし、値上げ額については次回の県 P 役員で決まる予定。

日 P では千葉県だけが値上げに反対したが、圧倒的な賛成多数で可決された背景がある。千葉県は各郡市からの会費を会員数で徴収しており、児童数との差額だけをとらえても他の都道府県と比較して厳しい財政を強いられている。

県 P の対応を受け市川市の対応を決める必要がある。値上げ幅は検討の余地はあるものの値上げはやむ得なしという意見が多かった。今後、日 P から送付される資料を基に会長（新浜小）のほうで説明用資料を作成する。また、20 年度予算書をベースに収支の資料を作成する。3 月の役員会で理事に平成 23 年度の値上げ案を提示する。また、合わせて会則の改正案も作成する。説明不足という意見が出た場合は、4 月の三役会の後に臨時役員会を設けて、引き続き審議を行い総会提出用の原案をまとめる。5 月の総会で会則改正を議題に挙げる。

以上